

# 沖縄県議会議員 具志堅 透

会派 \* 沖縄・自民党  
**令和2年3月特別号**  
 沖縄県議会  
 〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 6階  
 電話・098-866-2754 FAX:098-866-2773

詳しくは  
 会派ホームページへ




## 代表質問・一般質問（令和元年）

### 玉城知事の「疑惑の会食」追求

- 万国津梁会議設置に関し2,400万円の委託料について質す。
- 委託の必要性について質す。(委託の重要な部分を県職員が行っている。)
- 実績に伴わない9割支払いの根拠を示せ。
- 北部地域へ中高一貫校設立急げ！（県の取組を質す）
- 水源涵養維持、やんばるの環境保全、ダム所在市町村振興のため財源確保を！「3千万円確保」
- 古宇利島の光ケーブル整備急務！
- 国立自然史博物館の誘致を！
- 泡盛製造業の振興について質す。(テロワールプロジェクトの推進・長粒米の県内生産を！)

### 基幹病院の早期実現で、北部地域医療を充実せよ！

医師不足により27の診療科目の内8の診療科目が休診



- 大宜味村喜如嘉の河川の河口閉塞による冠水の解消のため整備を県の責任で行え！
  - 首里城火災について、再建に向け取組む必要性と徹底した原因究明が必要であるとの認識で、早期の第三者委員会設置を強く求める！
  - 豚熱（CSF）感染については、消毒等防疫を呼びかけや、連絡体制を周知徹底していれば防げた！
  - 北部基幹病院については、県提案の合意書案に北部市町村会、議長会が合意をしたが、玉城知事は、慎重姿勢を示している。北部住民の命を守り、県土の均衡ある発展を目指すため早期整備を強く求めた。
  - 国頭村地域において、組織的な密漁が横行している問題について、徹底した取締り等対策を議論した。
- 以上、代表質問や一般質問で県政の課題について県の姿勢を資して来ました。

## 令和2年2月定例議会



■質問 又吉 清義  
 首里城火災、豚熱の発生、中国での新型コロナウイルスの発生による県内観光への影響等、県は危機的状況に直面している。玉城県政は、万全な対策と対応が出来たか？又、一刻も早い普天間の危険性除去の為に取り組むべき事が、今では議論が噛み合わない。知事の真意を問う。



■質問 西銘 啓史郎  
 危機管理体制（首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等）について追及すると同時に、観光立県としての課題解決を質し、実現に向けて提言を行う！



■質問 花城 大輔  
 首里城火災、豚熱、新型コロナウイルス等々起こる異常事態に対して、県の危機管理はどうか？この他にも外部団体の人事問題やMICEの和解放サングの採捕許可申請に対する姿勢など行政としての機能を有しているとは思えない。正常に機能するよう指摘。



■質問 大浜 一郎  
 次期沖振計へ向けた正念場の年。沖縄関係予算はこれでいいのか？離島振興は次期振計の重要な柱！その取り組みを問う。



■質問 山川 典二  
 我が国初の沖縄県警国境離島警備隊創設の目的と内容。沖縄県の地震、津波など防災対策。大幅に遅れている消防防災ヘリコプター導入事業。那覇空港第2滑走路の活用策。薬学部設置の可能性などについて質問する。



■質問 中川 京貴  
 沖縄県の最大の振興策は、教育と人材育成、観光振興である。県内社会資本整備や次期沖振計策定について問う。



■質問 座波 一  
 首里城火災の責任問題、万国津梁会議業務に関する疑惑問題と職員倫理のあり方を追及し、MICE施設整備事業で派生した和解金問題を追及する。



■質問 仲田 弘毅  
 沖縄のシンボルである首里城の復元再建のあり方と予算に関する国の調整をどうするか問う。また国内外に向けて的確な対応策が求められている「新型コロナウイルス」や「豚熱」等の対処策について、医療行政と農林水産行政の姿勢を問いたい。

